

令和元年度

### 要件の整理と検討

- 公開用eラーニングの要件を整理し、検討する。(利用目的や対象者、コンテンツの考え方・作成方法、実施時期、学習履歴等その他の機能、システム(LMS等)の利用方針、管理・運用体制等)
- 公開用eラーニングの学習の流れを整理し、費用の概算を算出する。



令和2年度

### 試行に向けた検討

- 整理した要件に基づき、試行の範囲の検討、コンテンツの設計、公開用eラーニングの学習の流れを実現できるシステム等の選定を行う。
- 必要に応じて要件を見直し、費用を再度算出する。



### 試行結果から実施の方向性を検討

- 公開用eラーニングの試作版を開発し試行する。
- 試行の結果明らかになった課題の改善点を整理し、対応を検討する。



令和3年度

### 公開用eラーニングの実施

- 試行結果を踏まえ、コンテンツの改善・開発、LMSなど導入するシステム選定等を行い、公開用eラーニングを実施する。
- 実施の結果明らかになった課題の改善点を整理し、対応を検討する。
- 公募形式でコンテンツを作成するなど、継続的にコンテンツの充実・強化を図る仕組みを検討する。